

※2025年3月のRESAS新システムへの移行に伴い、従前のマップ・メニューと内容が異なる場合があります。そのため、新システムが正式に稼働しますと、一部記載のとおりに授業を進められなくなりますことをご了承ください。



地域の課題を発見し解決に取り組む探究学習 「○○(市)活性化プロジェクト」

内閣官房新しい地方経済・生活環境創生本部事務局 内閣府地方創生推進室 ビッグデータチーム
RESAS副教材作成委員会

みなさん〇〇(市)が好きですか?

いいところ 好きなところ

わるいところ 嫌いなところ



わるいところの原因は何だと思いますか?
どうすればよくなると思いますか?

わるいところの原因

どうすればよくなる?



ガイダンス

〇〇市活性化プロジェクト 第1回

1 | プロジェクトの目的・意義

2 | プロジェクトのプロセス

3 | 地域経済分析システム(RESAS)について

1

プロジェクトの目的・意義

（1）プロジェクトの目的・意義

社会で求められる力 例)社会人基礎力(経済産業省)

前に踏み出す力（アクション）

一步前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力



主体性

物事に進んで取り組む力

働きかけ力

他人に働きかけ巻き込む力

実行力

目的を設定し確実に行動する力

考え方（シンキング）

疑問を持ち、考え方



課題発見力

現状を分析し目的や課題を明らかにする力

働きかけ力

課題の解決方に向けたプロセスを明らかにし準備する力

実行力

新しい価値を生み出す力

チームで働く力（チームワーク）

多様な人々とともに、目標に向かって協力する力



発信力

自分の意見をわかりやすく伝える力

傾聴力

相手の意見を丁寧に聴く力

柔軟性

意見の違いや立場の違いを理解する力

情報把握力

自分と周囲の人々や物事との関係を理解する力

規律性

社会のルールや人との約束を守る力

ストレスコントロール力

ストレスの発生源に対応する力

（1）プロジェクトの目的・意義

プロジェクトの目的

- 1 データを分析し、活用する力を身につける。
- 2 課題発見力、課題解決力、情報収集・分析力、協働力を養う。
- 3 新たな価値を創造し、よりよい地域や社会を実現しようとする姿勢や意識を身につける。
- 4 データを根拠に、論理的に思考する力、結論を得るために客観的に判断する力、他者に伝えるために論理的に表現する力を養う。

【1】プロジェクトの目的・意義

クイズ

次の数字は何をあらわしているでしょうか?

【Q1】 1億2769万人(2008)
→1億2644万人(2018)

【A1】 日本の総人口

【Q2】 28.1%(2018)

【A2】 総人口に占める65歳以上の
割合(高齢化率)

【Q3】 1.42(2018)

【A3】 合計特殊出生率

(1人の女性が産む子どもの人数の平均値)

【Q4】 49.1万人-35.5万人
=13.6万人(2018)

【A4】 東京圏の転入者数-転出者数

【Q5】 3,658万人(2018)

【A5】 東京圏の人口

※「東京圏」=東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県

参考：総務省「人口推計」「住民基本台帳人口移動報告」、厚生労働省「人口動態統計月報年計」

【1】プロジェクトの目的・意義

クイズの結果からどんなことが言えますか?

解答例

日本の総人口はここ10年間で約125万人減少している
高齢化率が約28%
→ 総人口のうち1/4以上が高齢者
→ 出生率が低い
→ 少子化が進んでいる 人口が減っているのに、
東京圏は13.6万人の転入超過 総人口のうち30%近くが
東京圏に集中している

ということは……地方では人口が減っている(のがほとんど)

「地方の危機」をどうしますか?
この地域をどうしますか?

せっかくなら...

魅力ある元気な地域をつくろう

2

プロジェクトのプロセス

【2】プロジェクトのプロセス

1 地域の特徴をつかむ

1 | 地域の「人の動き」をつかむ

→ 地域経済分析システム (RESAS)

2 | 地域の特徴、現状や課題、政策などを知る

→ 自治体のHP、「人口ビジョン」「総合戦略」などの公開資料

3 | 地域の産業・経済について知る

→ 地域経済分析システム (RESAS)

情報はすべて「情報カード」にまとめよう

(1つの情報につき1つのカードに)

【2】プロジェクトのプロセス

2 課題とその原因を考える

1 | 集めた情報から課題を列挙する

※ データを根拠にして、地域の現状・課題をとらえる

2 | 列挙した課題の原因を考える

※ 課題がおきている原因をできるだけ多く考えてみる

「課題」はデータから考える
「原因」はデータだけでなく得た情報などから広く考える

【2】プロジェクトのプロセス

3 課題を設定し、要因を特定する

1 | 地域に特徴的な課題の組み合わせを考える

※ シンキングツールを活用しながら課題を設定する

2 | 課題と原因の関係を整理し、解決すべき要因を特定する

※ 因果関係を整理し、関係図を作成して要因を特定する

4 課題解決のためのアイデアを考える

1 | 要因の解決につながるアイデアを考える

※ アイデアを連想しながら広げて創出し、
それらを整理・分析して、アイデアを具体化してまとめる

3

地域経済分析システム(RESAS)について

RESAS(リーサス)とは?

地域経済分析システム:Regional Economy and Society Analyzing System

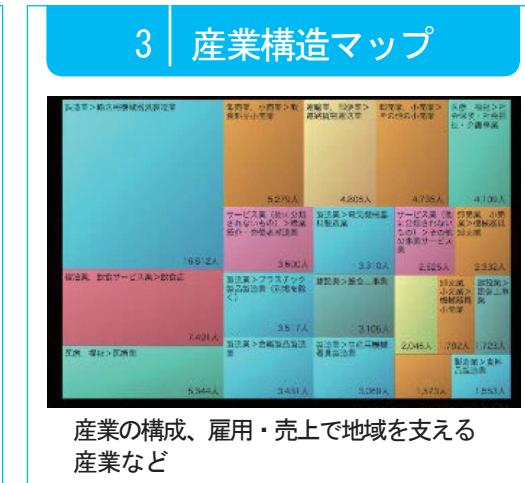
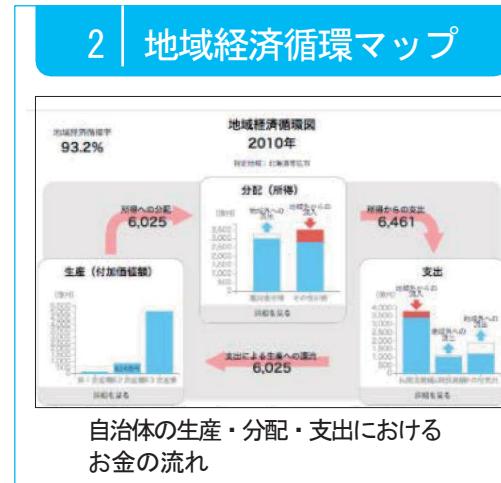
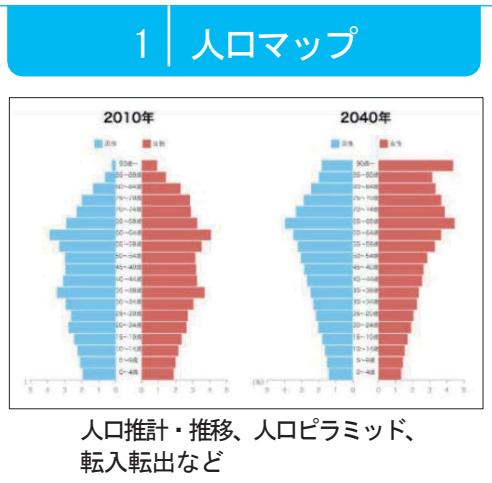
地域経済に関する様々なビッグデータ(産業の強み、人の流れ、人口動態など)を、地図やグラフで分かりやすく「見える化(可視化)」したシステム。



■ インターネットで誰でも利用可能!

■ 誰もが直感的に使える、分かりやすい画面操作!

■ データに基づいて、地域の実情を把握・分析できる!

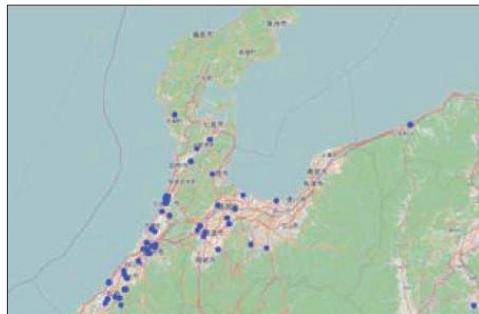


http://www.kantei.go.jp/jp/singi/sousei/resas/pdf/resas_chirashi.pdf

3

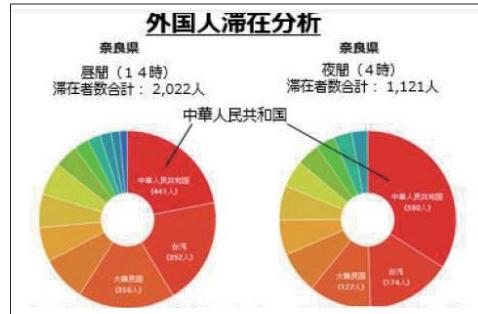
地域経済分析システム(RESAS)について

4 | 企業活動マップ



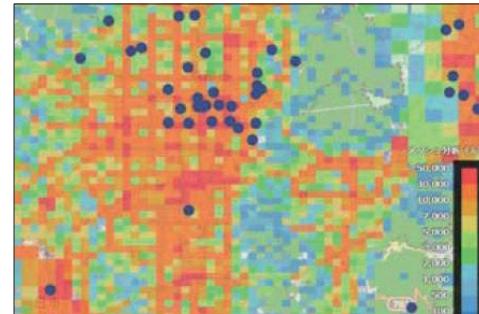
地域の創業比率、特許分布、
補助金採択企業など

5 | 観光マップ



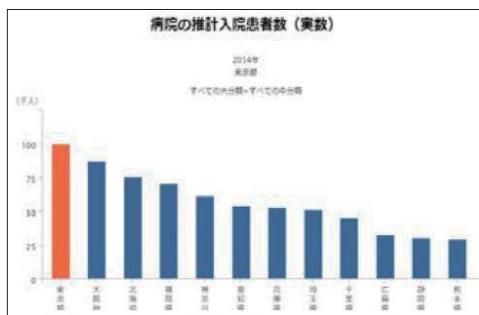
国籍別の外国人の滞在状況や、
宿泊者の動向など

6 | まちづくりマップ



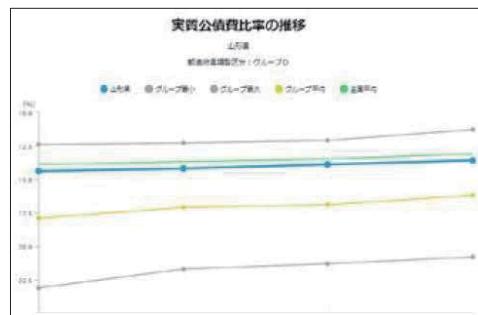
人が多く集まっている場所や
事業所立地の動向など

7 | 雇用/医療・福祉マップ

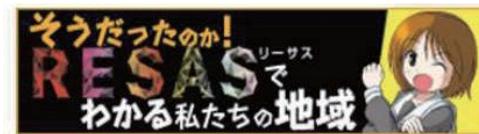


地域の雇用や、医療・介護の需要など

8 | 地方財政マップ



各自治体の財政状況など



まんがのブックレットも
公開中です！

http://www.kantei.go.jp/jp/singi/sousei/resas/pdf/resas_chirashi.pdf

3

地域経済分析システム(RESAS)について

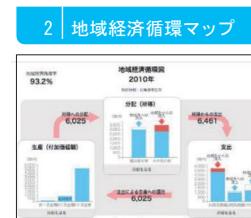
RESAS(リーサス：地域経済分析システム)の概要

目的

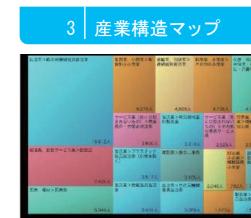
- 人口減少、過疎化が構造的に進展し、疲弊する地域経済を真の意味で活性化させていくためには、地域の現状・実態を正確に把握した上で、将来の姿を客観的に予測し、その上で、地域の実情・特性に応じた施策の検証とその実行が不可欠。
- このため、国が、地域経済に係わる様々なビッグデータ（人口動態、産業の強み、人の流れ等）を収集し、かつ、わかりやすく「見える化（可視化）」するシステムを構築することで、真に効果的な施策の立案、実行、検証（PDCA）を支援する。



人口推計・推移、
人口ピラミッド、
転入転出などが地域
ごとに比較しながら
把握可能に



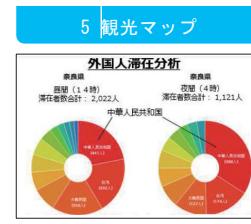
自治体の生産・分配・
支出におけるお金の
流入・流出が
把握可能に



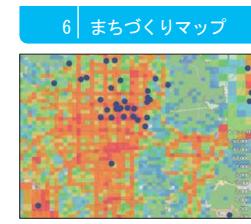
売上や雇用で地域を
支える産業が把握
可能に地域の製造業、
卸売・小売業、
農林水産業の構造が
把握可能に



地域の創業比率や
黒字赤字企業比率が
把握可能に地域の
特許や補助金採択
企業の分布が
把握可能に



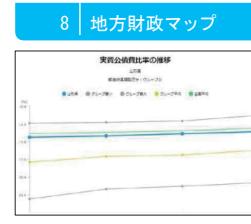
国・地域別の外国人の
滞在状況などの
インバウンド動向や、
宿泊者の動向などが
把握可能に



人がどこに多く集まる
のか、いつ集まって
いるのかが把握可能に
事業所の立地動向や
不動産取引の状況など
まちづくりの検討材料が
取得可能に



地域の雇用や、
医療・介護を
需要面や供給面から
把握可能に



各自治体の
財政状況が
比較可能に

http://www.kantei.go.jp/jp/singi/sousei/resas/pdf/resas_chirashi.pdf

3

地域経済分析システム(RESAS)について

操作方法

RESAS トップ画面右上



参照

操作マニュアル

本日のメニュー

〇〇市活性化プロジェクト 第2回

地域の人の動きをつかみ、
地域の特徴・施策などについて知る

1 | 情報カードについて

2 | 地域の「人の動き」をつかむ

3 | 地域の特徴、現状や課題、政策などを知る

1

情報カードについて

1

情報カードについて

1

定性情報用

情報カード

数値で表せない情報をまとめるカード(文章・画像・映像など)

例) 地理・交通・歴史・行政施策・産業・気候・観光・近隣との関係 など

2

データ用(RESASなど)

数値で表されるデータ(定量情報)をまとめるカード

例) グラフ・数値表・アンケート結果 など

3

データ貼付用

キャプチャしたデータを貼り付けるためのカード

情報カード 定性情報用

整理No.

作成日

/ /

タイトル(参照元)

特徴

※地理・交通・歴史・行政施策・産業・気候・観光・近隣比較など

気づいたこと(強み・課題など)

情報カード データ用(RESASなど)

整理No.

作成日

/

/

タイトル(データの名称)

読み取ったこと

- ① どう推移しているか
- ② 全国平均・都道府県平均・近隣自治体・類似自治体との比較
- ③ 数字の大きいところ、小さいところ

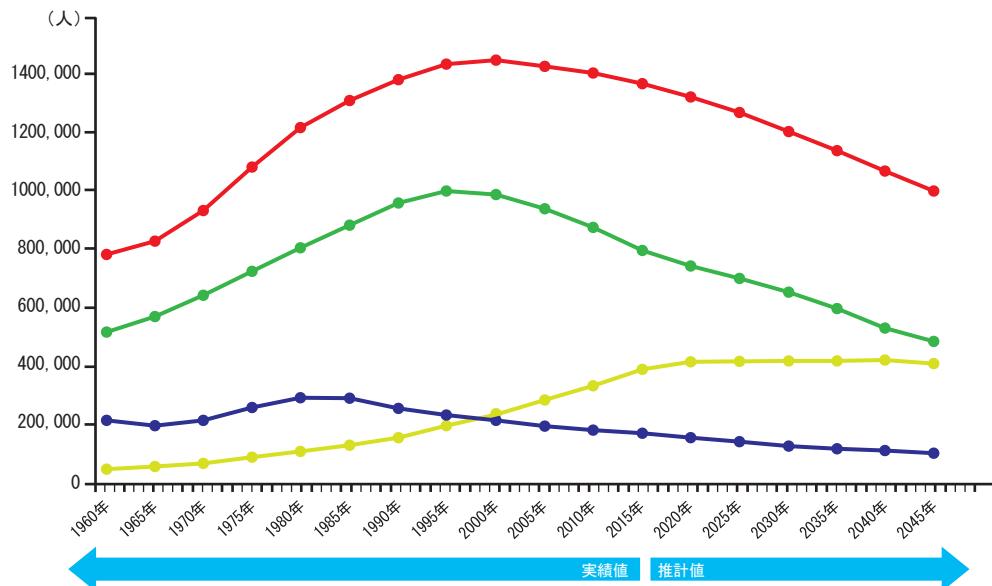
気づいたこと(強み・課題など)

データ貼付欄

人口推移

奈良県

■ 総人口 ■ 年少人口 ■ 生産年齢人口 ■ 老年人口



名称(URL)

奈良県の人口推移(RESAS 人口マップ 人口構成)

1

情報カードについて

1

地域の特徴をつかむ

1

地域の「人の動き」をつかむ

→ 地域経済分析システム(RESAS)

2

地域の特徴、現状や課題、政策などを知る

→ 自治体のHP、「人口ビジョン」「総合戦略」などの公開資料

3

地域の産業・経済について知る

→ 地域経済分析システム(RESAS)

情報はすべて「情報カード」にまとめよう

(1つの情報につき1つのカードに)

2

地域の「人の動き」をつかむ

データを見るポイント

1 | どう推移しているか

2 | 全国平均・都道府県平均・近隣自治体・
類似自治体との比較

3 | 数字の大きいところ、小さいところ



2

地域の「人の動き」をつかむ

データ分析支援機能

RESAS トップ画面右上

click

RESAS

Regional Economy Society Analyzing System
地域経済分析システム

授業モデル ダッシュボード データ分析支援 サマリー ヘルプ 問合せ

分析対象自治体を選択

都道府県のみを選択するか、都道府県と市区町村の両方を選択してください。

都道府県 選択しない

次へ

分析テーマを選択

○ 人口対策
● 第二次産業・第三次産業
(※他のテーマについては検討中)

戻る 次へ

2

地域の「人の動き」をつかむ

データ分析支援機能「人口対策」



画面上部「目的」を確認し、
3つのポイントから読み取ったことと気づいたことを情報カードに記入しよう

- **人口推移** 総人口・年代別人口がどのように推移するか
- **人口ピラミッド** 人口の男女別・年齢別構成、将来予測を把握する 自然増減・社会増減
- **自然増減・社会増減** 然増減と社会増減がどのように推移するか
- **合計特殊出生率と人口推移** 全国平均や都道府県平均と比較する
- **人口移動** どの年代が転入(転出)超過になっているか
- **From-To(定住人口)** 転入・転出先を把握する

※ 類似自治体検索を使って比較してみよう

2

地域の「人の動き」をつかむ

他のデータも見てみよう



発展

人口マップ

»» 新卒者就職・進学

まちづくりマップ

»» From-to分析 »» グラフ

»» 滞在人口率 »» グラフ

»» 通勤通学人口 »» グラフ

3

地域の特徴、現状や課題、
政策などを知る

3

地域の特徴、現状や課題、政策などを知る

自治体のホームページ

自治体公表の「人口ビジョン」「総合戦略」

自治体公表の「総合計画」などの政策集

自治体などが実施したアンケート結果など

文章や画像は「定性情報用」の情報カードへ

数値化されている情報は「データ用」の情報カードへ

本日のメニュー

〇〇市活性化プロジェクト 第3回

地域の産業・経済について知る

3

地域の特徴、現状や課題、政策などを知る

1

地域の特徴をつかむ

1

地域の「人の動き」をつかむ

→ 地域経済分析システム(RESAS)

2

地域の特徴、現状や課題、政策などを知る

→ 自治体のHP、「人口ビジョン」「総合戦略」などの公開資料

3

地域の産業・経済について知る

→ 地域経済分析システム(RESAS)

情報はすべて「情報カード」にまとめよう

(1つの情報につき1つのカードに)

データを見るポイント

1 どう推移しているか

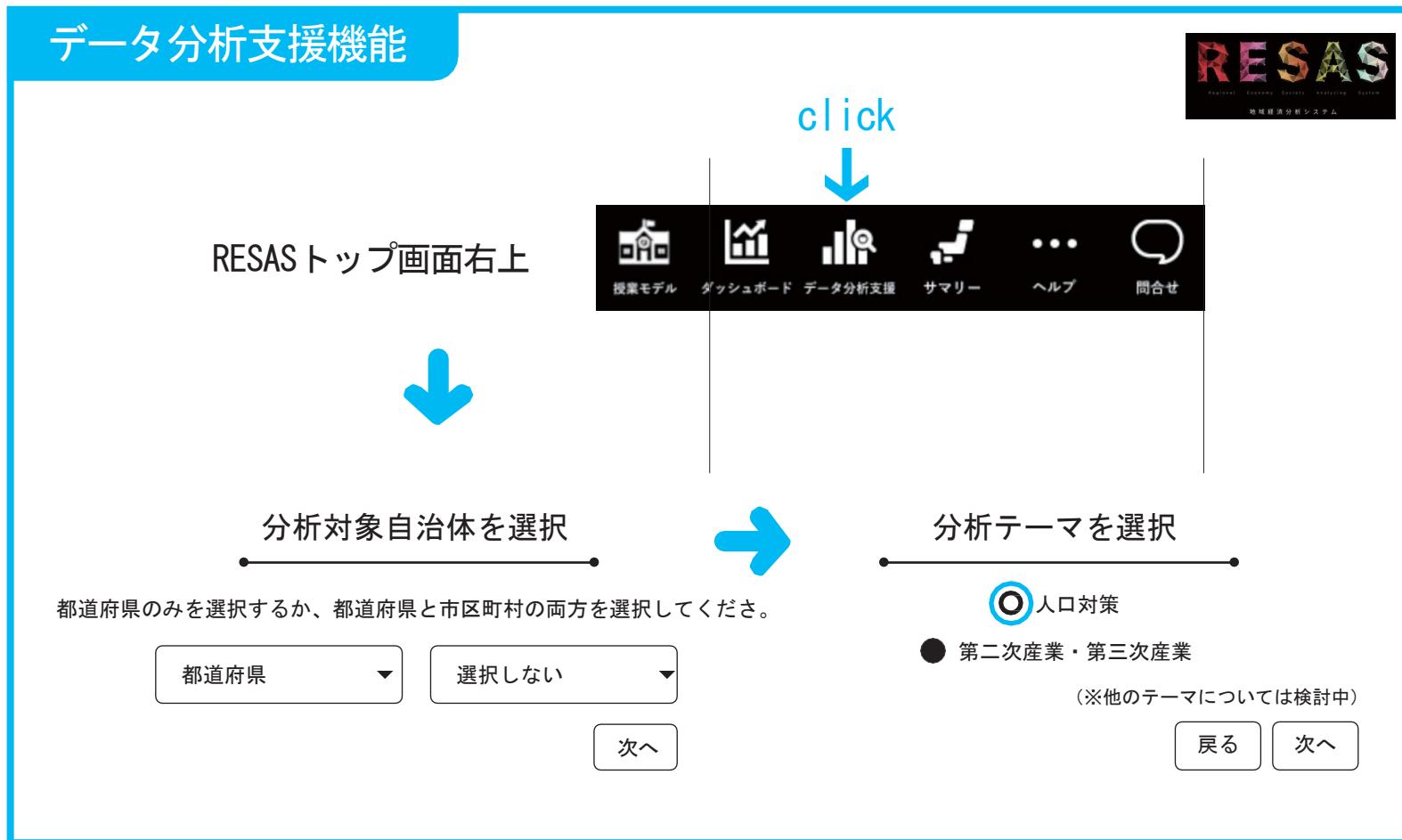
2 全国平均・都道府県平均・近隣自治体・
類似自治体との比較

3 数字の大きいところ、小さいところ



3

地域の特徴、現状や課題、政策などを知る



3

地域の特徴、現状や課題、政策などを知る

データ分析支援機能「第二次産業・第三次産業」



画面上部「目的」を確認し、
3つのポイントから読み取ったことと気づいたことを情報カードに記入しよう

- **全産業の全体像** 地域の産業の全体像を把握する
- **全産業の構造** 地域の産業構造を都道府県や全国の構造と比較する
- **稼ぐ力分析** 付加価値額・労働生産性・従業者数の特化係数を確認し、稼ぐ力のある産業や課題をもつ産業を把握する
- **労働生産性(企業単位)** 特定産業の生産性の推移を、類似自治体と比較する

※ 類似自治体検索を使って比較してみよう

3

地域の特徴、現状や課題、政策などを知る

他のデータも見てみよう

発展

産業構造マップ

- » 農業
- » 農業の構造・農業者分析・農地分析 など
- » 林業水産業
- » グラフ

観光マップ

- » 国内
- » 目的地分析・From-to分析・宿泊施設
- » 外国人
- » 外国人訪問分析・滞在分析・消費 など

※ 自治体公表の観光動向調査などを参考するのもよい

雇用/医療・福祉マップ

- » 一人当たり賃金
- » 有効求人倍率 求人・求職者
- » 医療受給 介護需給

地域経済循環マップ

- » 地域経済循環図



3

地域の特徴、現状や課題、政策などを知る

地域経済循環とは

① 地域内企業の経済活動を通じて生産された付加価値は、労働者や企業の所得として分配され、消費や投資として支出されて、再び地域内企業に還流する。このいずれかの過程で地域外にお金が流出した場合、地域経済が縮小する可能性があるため、上記の地域経済の循環を把握し、どこに課題があるのかを分析する必要がある。

例) 工場経営者の視点による地域経済循環イメージ（生産を起点とする場合）

①生産

- A町で自宅兼工場を営んでいる山田さんは、原材料費を引くと、年間1,000万円を稼いでいます。
- 結果、A町内の企業が**1,000万円の付加価値**を生産したことになります。



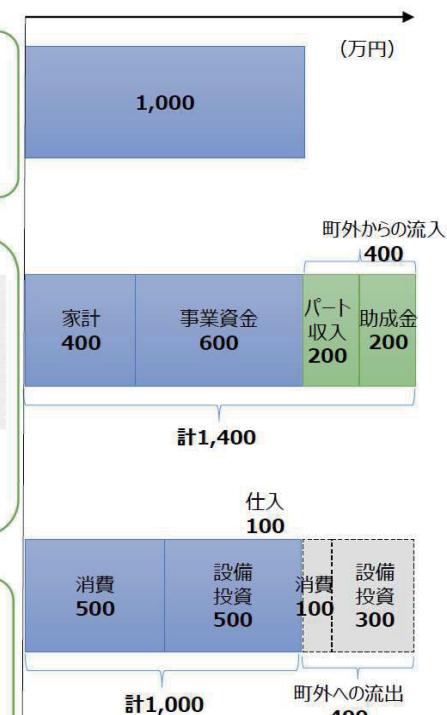
②分配

- 工場の稼ぎのうち、400万円は家計に入り、残り600万円は店の事業資金に充てられます。
- 一方、山田さんの奥さんは隣町のスーパーでパートとして働いて200万円稼いでいます。
- 工場は県から優良企業として毎年200万円の助成金を得ています。
- 結果、**町外から400万円が流入**するため、A町内の住民及び企業に合計**1,400万円の所得が分配**されたことになります。



③支出

- 分配された所得のうち、山田さん一家は500万円を町内で、100万円を町外で消費します。
- また、工場設備を改修するために、500万円は町内の業者に、残り300万円は町外に発注します。
- 結果、**町外に400万円が流出**するため、A町内の企業には**1,000万円が支出**として還流します。



http://www.hkd.meti.go.jp/information/resas/data/02chiiki_map.pdf

3

地域の特徴、現状や課題、政策などを知る

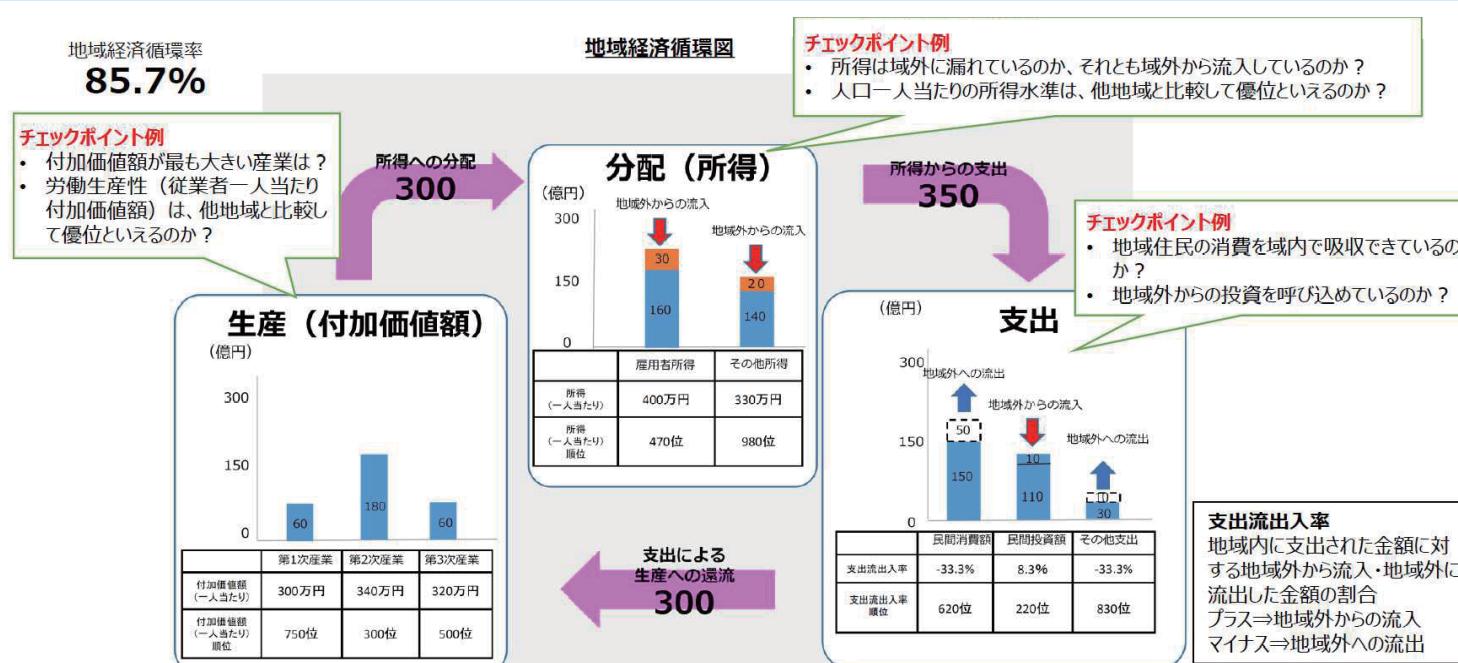
(2)-1 地域経済循環とは

データ出所:環境省「地域産業関連表」、「地域経済計算」
 (株式会社価値総合研究所) (日本政策投資銀行グループ) 受託作成

地域経済循環マップ

- 都道府県・市町村単位で、地域のお金の流れを生産（付加価値額）、分配（所得）、支出の三段階で「見える化」することで、地域経済の全体像と、各段階におけるお金の流出・流入の状況を把握することができるため、地域の付加価値額を増やし、地域経済の好循環を実現する上で改善すべきポイントを検討することができる。
- 地域経済の自立度を測る地域経済循環率（生産（付加価値額）÷分配（所得）により算出）を把握することも可能。

※データは2010年。市町村の各数値は推計値。東京特別区は一地域として扱う。



「その他所得」には、財産所得、企業所得、交付税、社会保障給付、補助金等、雇用者所得以外の所得が含まれる。
 「その他支出」には、政府支出、地域内産業の移輸出入収支額等が含まれる。

http://www.hkd.meti.go.jp/information/resas/data/02chiiki_map.pdf

本日のメニュー

〇〇市活性化プロジェクト 第4回

地域の課題とその原因を考える

1 | 課題解決のフレームワークを学ぶ

2 | 集めた情報から課題を列挙する

3 | 列挙した課題の原因を考える

1

課題解決のフレームワークを学ぶ

1

課題解決のフレームワークを学ぶ

課題解決のフレームワーク

課題

原因

解決策

どんな課題
があるか?

その課題が生じる
原因は?

その原因を解決
する具体策は?

なぜ?

どうすれば?

例

雨が降っていて
濡れてしまう

雨をさえぎる
ものがない

傘をさす

課題

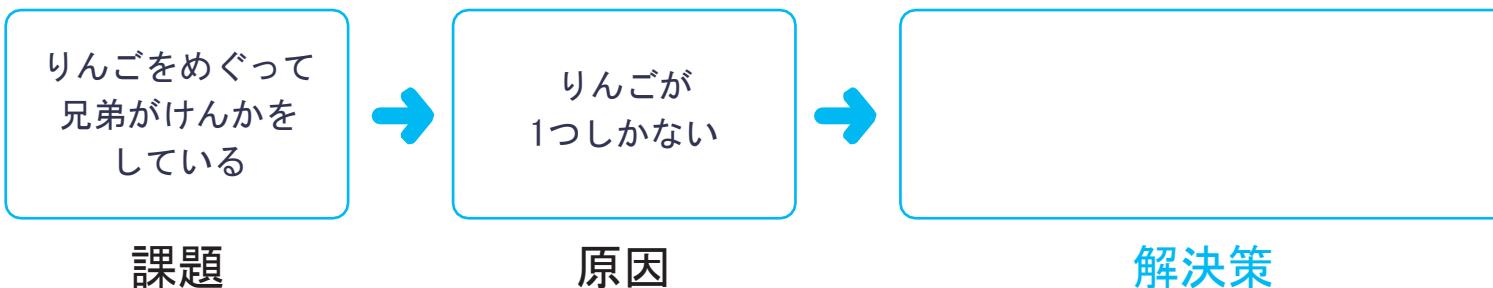
原因

解決策

1

課題解決のフレームワークを学ぶ

考えてみよう



1

課題解決のフレームワークを学ぶ

2

課題とその原因を考える

1 | 集めた情報から課題を列挙する

※ データを根拠にして、地域の現状・課題をとらえる

2 | 列挙した課題の原因を考える

※ 課題がおきている原因をできるだけ多く考えてみる

「課題」はデータから考える

「原因」はデータだけでなく集めた情報などから広く考える

2

集めた情報から課題を列挙する

集めた情報から課題を列挙する

※ データを根拠に考えよう

No.	課題記入欄	参照データ

3

列挙した課題の原因を考える

課題の原因を考える

※ データだけでなく集めた情報からも考えよう

原因記入欄	根拠・参照データ

本日のメニュー

〇〇市活性化プロジェクト 第5回

課題を設定し、要因を特定する

1 | 地域に特徴的な課題の組み合わせを考える

2 | 課題と原因の関係を整理し、
解決すべき要因を特定する

3 列挙した課題の原因を考える

3 課題を設定し、要因を特定する

1 | 地域に特徴的な課題の組み合わせを考える

※ シンキングツールを活用しながら課題を設定する

2 | 課題と原因の関係を整理し、解決すべき要因を特定する

※ 因果関係を整理し、関係図を作成して要因を特定する

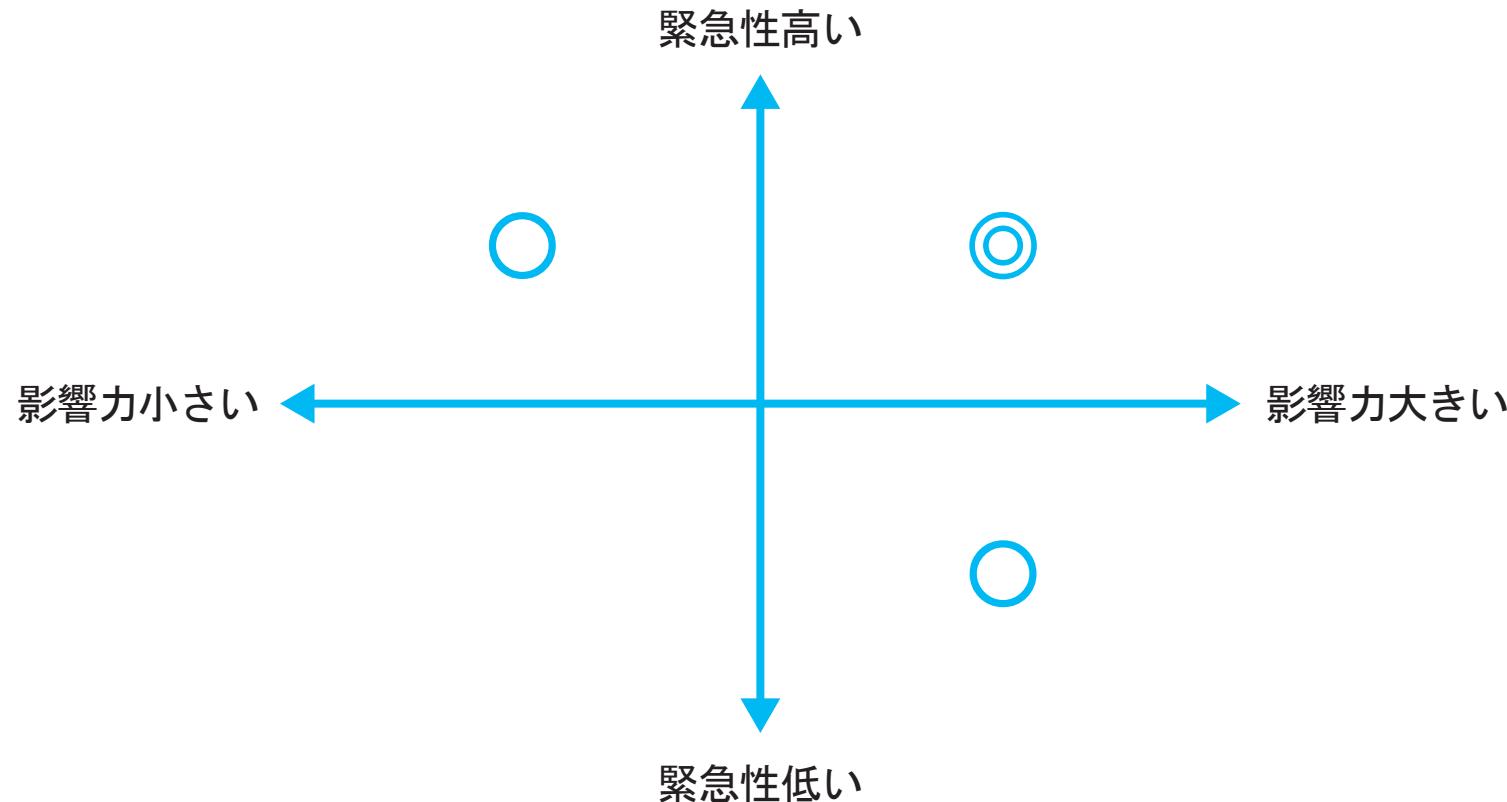
1

地域に特徴的な課題の 組み合わせを考える

1

地域に特徴的な課題の組み合わせを考える

前回列举した課題をマトリックス図で整理・分析する



【1】

地域に特徴的な課題の組み合わせを考える

マトリックス図の◎と○のゾーンにある課題を焦点化して
地域に特徴的な課題の組み合わせを設定する



1

地域に特徴的な課題の組み合わせを考える

焦点化(ピラミッドチャート)の手順

- 1 | 一番下の階層に、マトリックス図の◎と○のゾーンにある課題をすべて書き入れる（文ではなく、短い言葉で書く）
- 2 | 書き入れた言葉を見ながら、マトリックス図の分析結果を参考に、焦点化の方向性を決める
- 3 | 一番下の階層から、焦点化したい重要な言葉をつなげたり補ったりして2番目の階層に書き入れる（長めに書いててもよい）
- 4 | 2番目の階層からより重要な課題に焦点化して一番上の階層に書き入れる

※ 1つにしぼってしまうと一般的な課題になる（例：人口減少）おそれがあるので、地域に特徴的な課題を入れて 2~3 つの課題を設定する

（1）

地域に特徴的な課題の組み合わせを考える

焦点化した地域に特徴的な2~3つの課題を記入する

地域に特徴的な課題の組み合わせ

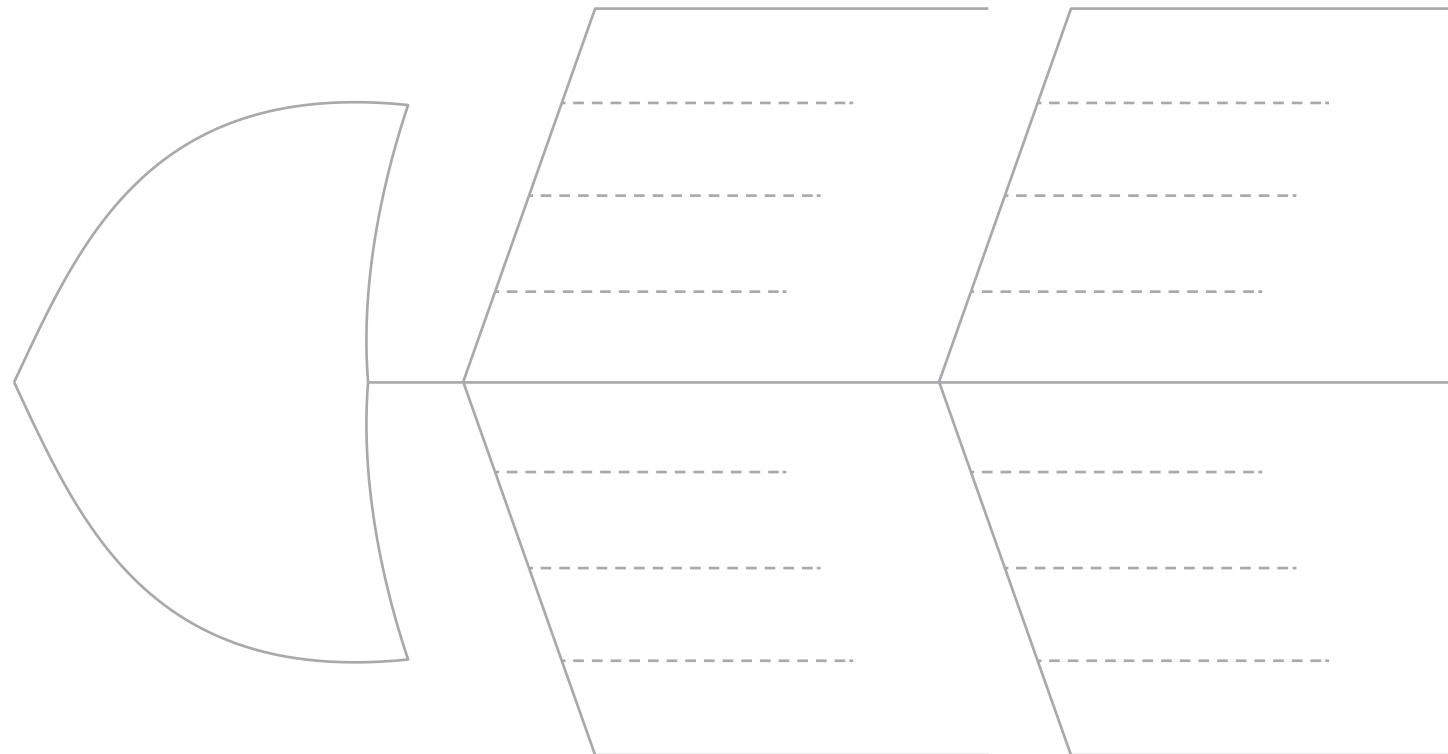
2

課題と原因の関係を整理し、
解決すべき要因を特定する

2

課題と原因の関係を整理し、解決すべき要因を特定する

フィッシュボーンで焦点化した課題の原因を分析する



http://ks-lab.net/haruo/thinking_tool/for_print.pdf

2

課題と原因の関係を整理し、解決すべき要因を特定する

フィッシュボーンの手順

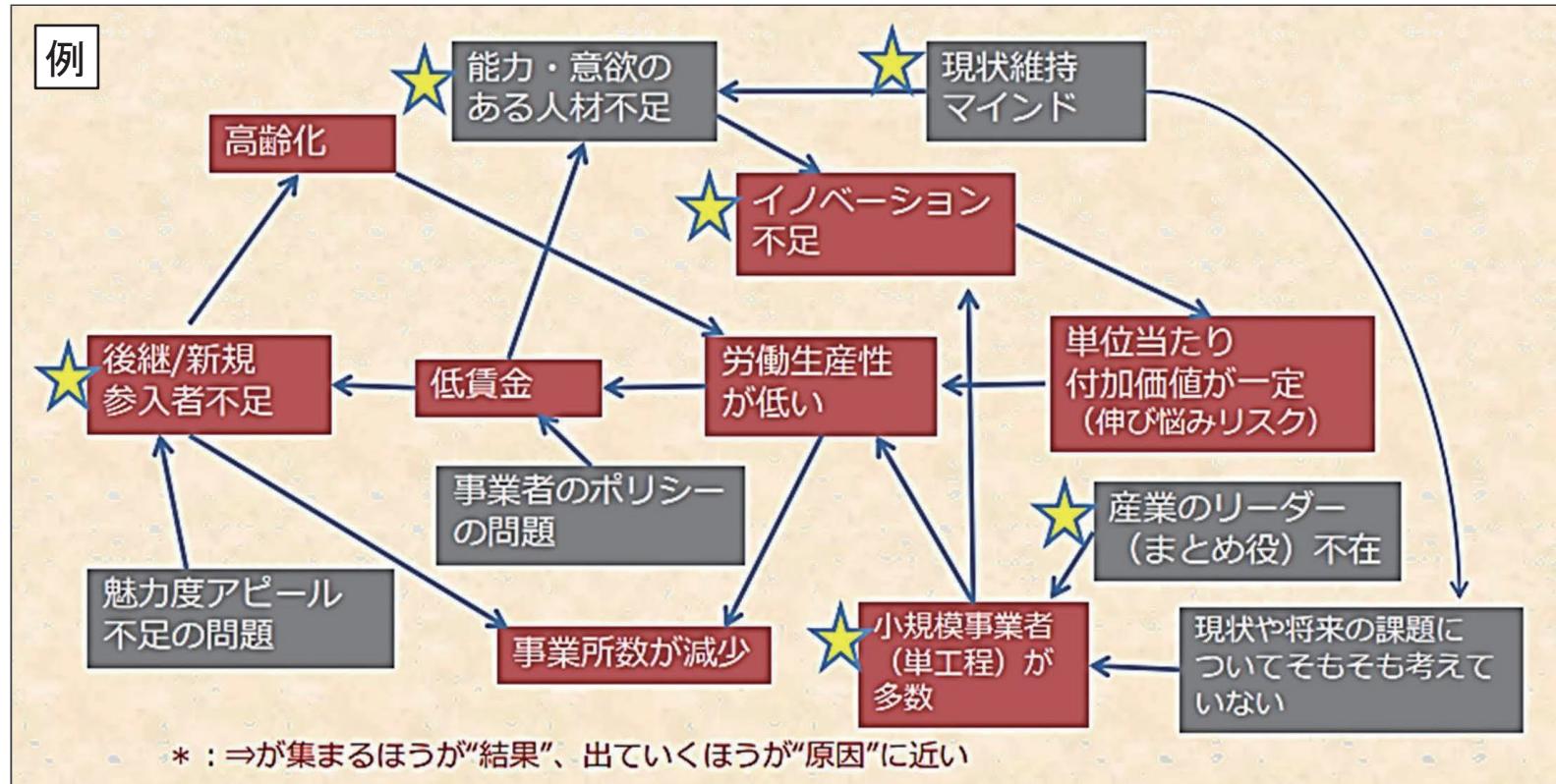
- 1 | 焦点化した課題を頭の部分に書き入れる
- 2 | 前回列挙した原因を見て、大まかにグループ化して名前をつけ
(例:人、場所、制度、方法、設備、時期など)、中骨のところに書き入れる
- 3 | 課題の原因に当たると思われるものをグループごとに
小骨に書き入れる
- 4 | 課題が起きている「要因」(主な原因)はどれか、見当をつけておく
(変えられることか、対策は可能か)

※ 骨が足りなければ書き加える

2

課題と原因の関係を整理し、解決すべき要因を特定する

課題と原因のつながりを示す関係図を作成して要因を特定する



copyright reserved atYoshiki Kashiwagi

<http://forum.resas-portal.go.jp/2017kansai/pdf/moderator01.pdf>

2

課題と原因の関係を整理し、解決すべき要因を特定する

作成した関係図から課題の要因を特定する

※ 矢印が出ているところを見て、解決すべき要因を選ぶ(1つにしほる 必要はない)

解決すべき要因

本日のメニュー

〇〇市活性化プロジェクト 第6回

課題解決のためのアイデアを考える

2

課題と原因の関係を整理し、解決すべき要因を特定する

4

課題決定のためのアイデアを考える

1 | 要因の解決につながるアイデアを考える

※ アイデアを連想しながら広げて創出し、それらを整理・分析して、アイデアを具体化してまとめる

2

課題と原因の関係を整理し、解決すべき要因を特定する

要因がとりのぞかれた状況をイメージする

(要因を真逆に言い換えるだけでもよい)

要因がとりのぞかれた状況

【2】

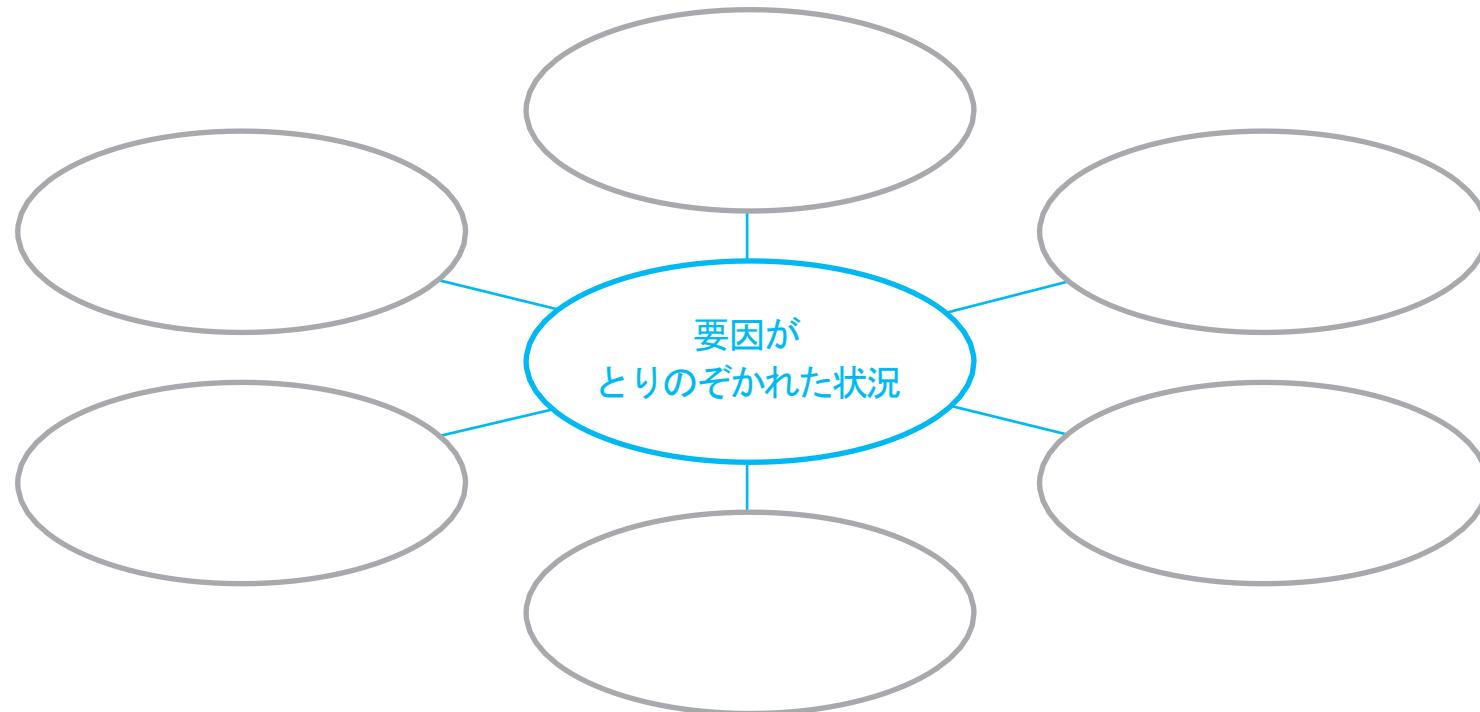
課題と原因の関係を整理し、解決すべき要因を特定する

これまで集めた情報から地域の魅力や強みを
できるだけ列挙する

地域の魅力や強み

イメージマップでアイデアを生み出す

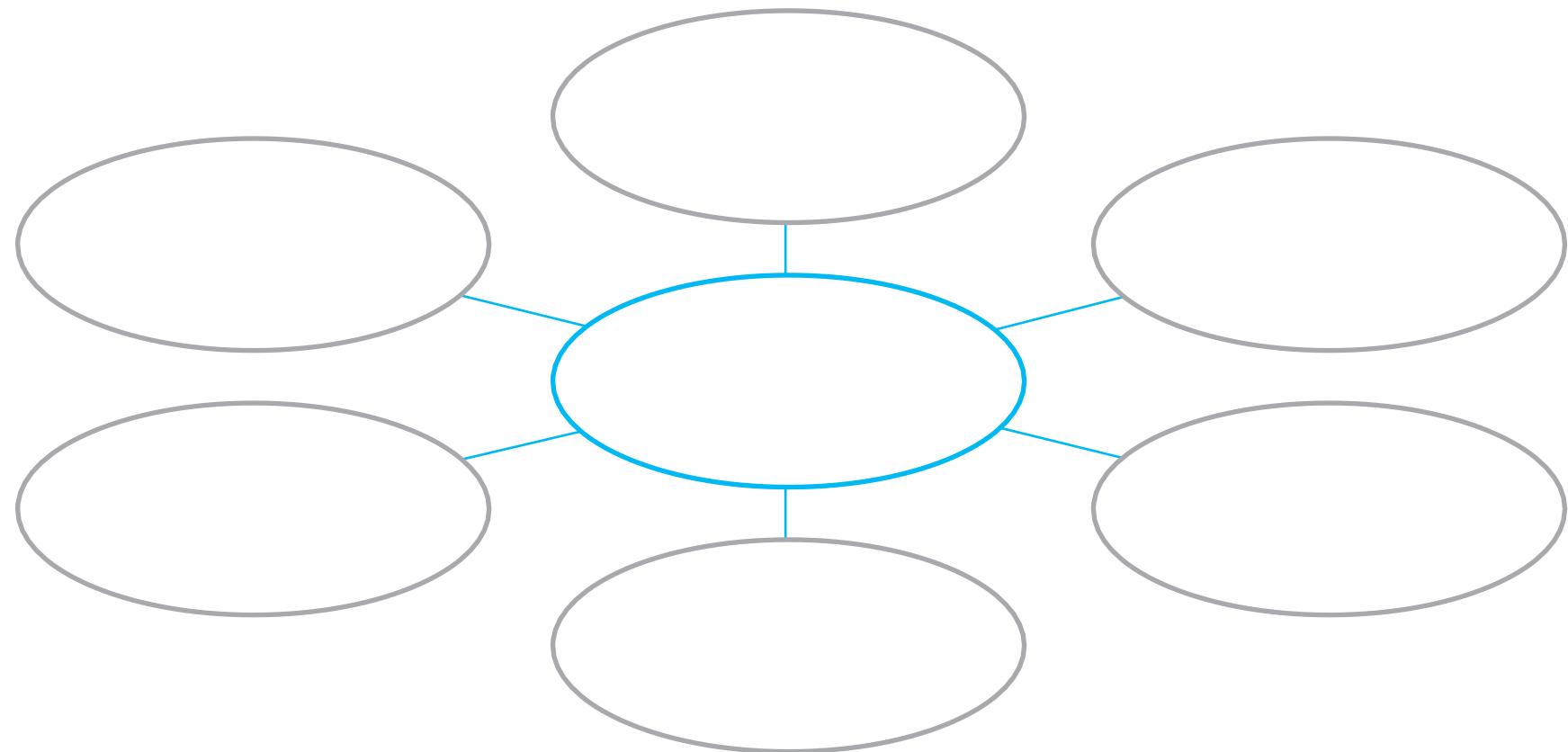
要因がとりのぞかれた状況を実現するためのアイデアをいろいろ考えてみる



※ 思いつくこと、連想することを書き出し、さらに連想したことを外側に広げて書いていく

【2】

課題と原因の関係を整理し、解決すべき要因を特定する



2 課題と原因の関係を整理し、解決すべき要因を特定する

アイデアをまとめて列挙する

アイデア

2

課題と原因の関係を整理し、解決すべき要因を特定する

列举したアイデアそれぞれのメリット・デメリットを考える

アイデア

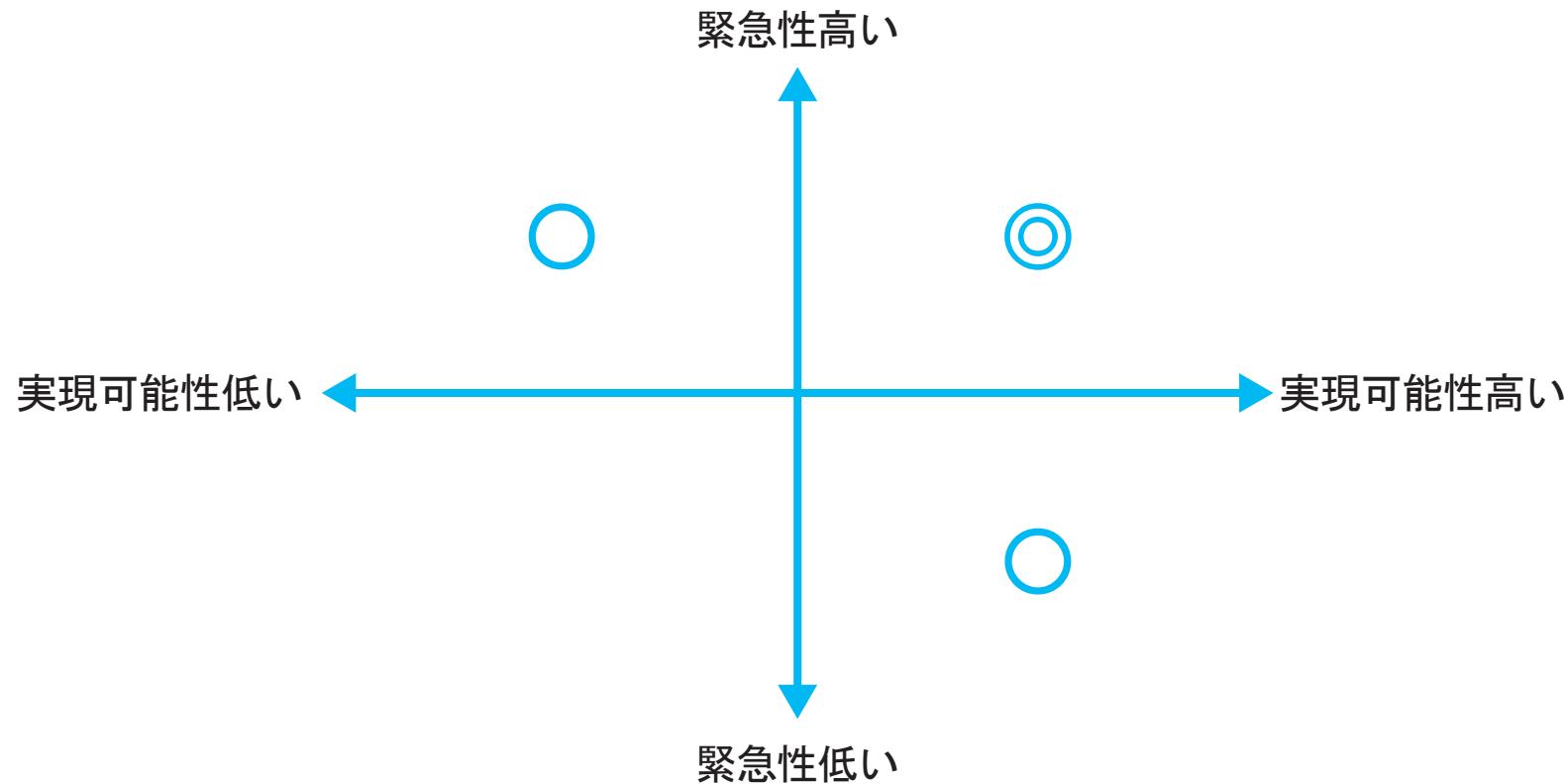
メリット

デメリット

2

課題と原因の関係を整理し、解決すべき要因を特定する

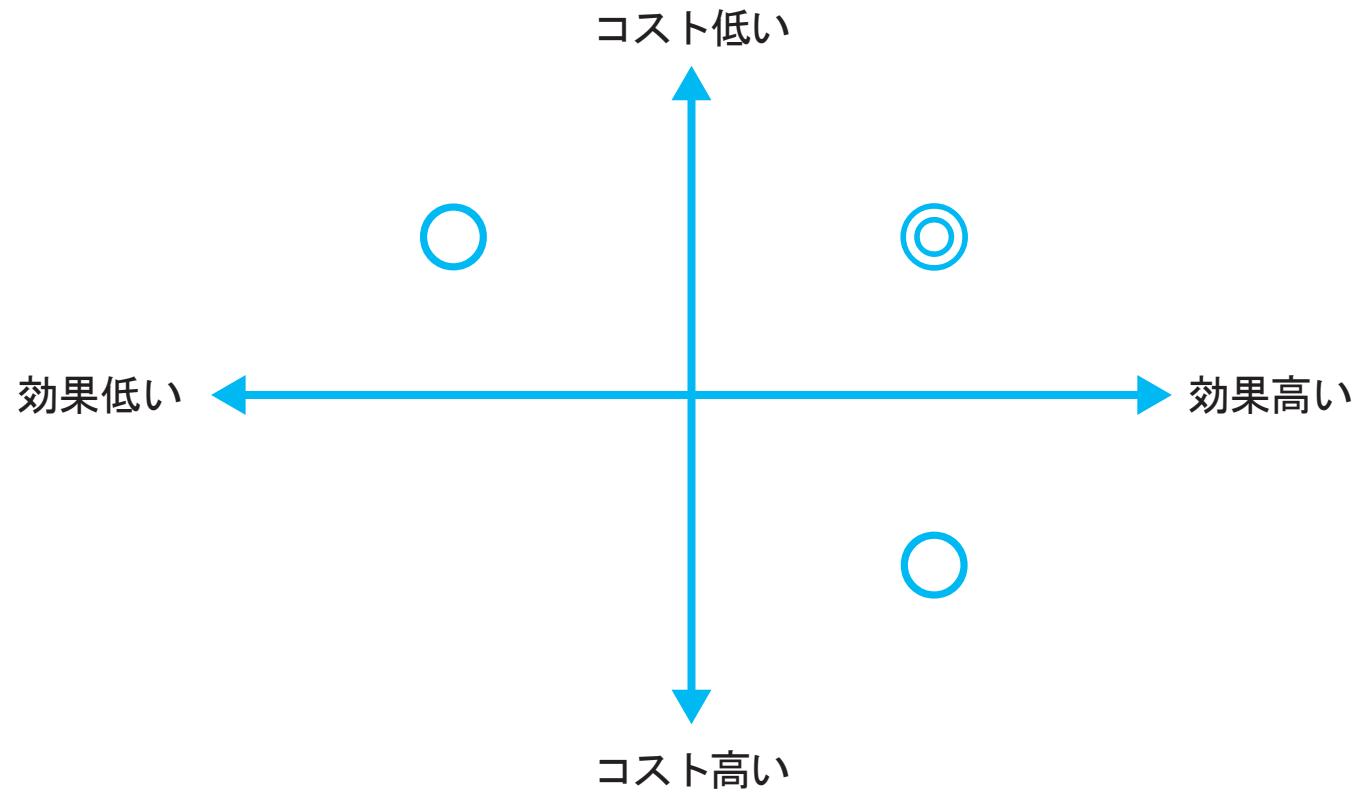
列挙したアイデアをマトリックス図で整理・分析する



2

課題と原因の関係を整理し、解決すべき要因を特定する

アイデアをマトリックス図で整理・分析する



2

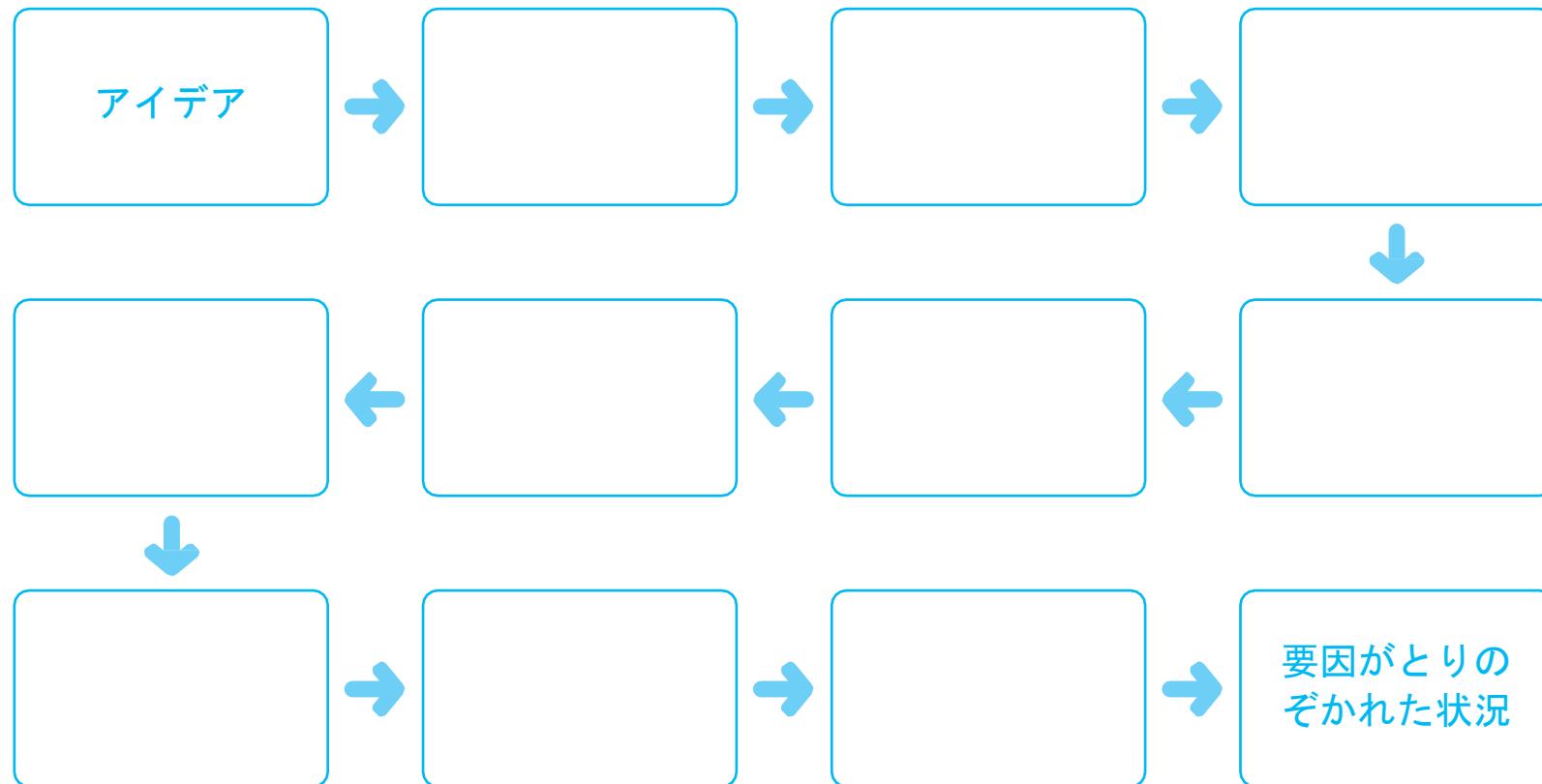
課題と原因の関係を整理し、解決すべき要因を特定する

分析(メリット・デメリットとマトリックス図)の結果を参考にアイデアをまとめる

アイデアの概要

アイデアを具体化する

要因がとりのぞかれるまでのプロセスを整理しながら必要なことを考えて具体化する



2

課題と原因の関係を整理し、解決すべき要因を特定する

具体的なアイデアとアイデア実現後の結果(効果)をまとめる

具体的なアイデア

アイデア実現後の結果（効果）

本日の流ニュー

〇〇市活性化プロジェクト 第7回

発表会

発表する内容

1 | 設定した地域特有の課題の組み合わせ(データから説明)

2 | 課題の要因

3 | アイデアの概要

4 | アイデアの具体的な内容(原因がとりのぞかれるまでのプロセス)

5 | アイデア実現後の結果(効果)

